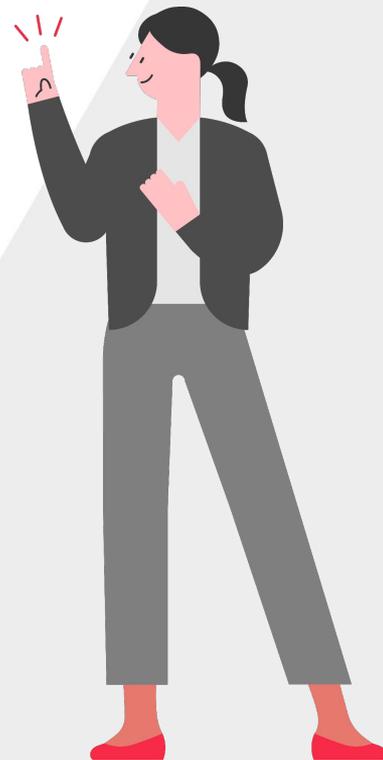


Speeda

意思決定の精度を高める エキスパートリサーチ活用術

知見が市場調査の解像度を極め、仮説を『確信』に変える



エキスパートリサーチとは？ | 市場開拓の戦略立案に不可欠な情報源

強固な戦略立案には、構造的な理解と実態に基づく仮説検証が必要です。エキスパートインタビューは、データだけでは捉えきれない「現場の今」に直接アクセスし、戦略に圧倒的なリアリティを吹き込むリサーチ手法です。



デスクリサーチ

統計やレポートなど信頼性の高い既存資料から、市場規模・成長率・バリューチェーン・国別トレンドなど全体像を把握する。



ニュース・トレンド把握

業界ニュースやローカルメディアから、最新の市場動向やマクロ環境の変化を迅速にキャッチする。



企業・競合調査

IR資料、ニュース、企業データベースなどの公開情報を用いて、特定企業の業績や事業戦略などを調査する。



エキスパートリサーチ

専門家の知見を直接聞くことで、公開情報・統計データには現れない「現場の声」を収集する。

**公開データの解析から導き出した「論理」を、実務家の知見という「確信」で裏付ける。
この多角的なプロセスこそが、不確実な市場における勝率を最大化させます。**

アジア市場開拓でエキスパートの知見が必要な3つの理由

変化の激しいアジア市場で勝ち抜くためには、統計データだけの情報収集に加え、不透明な市場の今を「動的な知見」として捉えるエキスパートの声が重要となります。

1 | 変化の激しい市場の「今」を捉える

統計データは過去の記録（静止画）となるため、変化の激しいアジア市場では現状と乖離しがちです。エキスパートを通じて「**現場の今**」をリアルタイム（動画）で捉えることで、変化の兆しをいち早く特定し、精度の高い意思決定が可能になります。

2 | 見えない「死角」を解消する

法規制、運用実態、地域ごとのニッチな領域の動向など、国ごとに事情が異なるアジアでは、Webやレポートだけで全てを把握することは困難です。こうした「**情報の死角**」をエキスパートの知見で可視化し、市場の解像度を極限まで高めることが、生きた戦略を立てる鍵となります。

3 | 「分断された市場」の情報格差を埋める

アジアは国境・言語・ルールが異なる「**細かく分断された市場**」であり、依然として大きな情報格差が残っています。現地での意思決定者や実務家の知見を取り入れ、現場の実態を深く理解することは、市場参入を成功へと導く確かな道標となります。



戦略に「実行力」をもたらす知見活用の要素

エキスパートの知見がもたらすのは、単なる情報の補填ではありません。

市場の『解像度』を高め、意思決定の精度を高めることは、戦略を現実へと動かす「実行力」の源泉となります。

エキスパートの知見がもたらす「3つの提供価値」

1

生産性向上と高速化

膨大な資料を読み解く工数を削減。専門家の知見を直接活用することで、初期調査のスピードを最大化する。



2

「現場知」の獲得

情報の裏側にある「実態」を熟知したエキスパートから、デスクトップリサーチでは到達できない情報を取得し、より深い洞察を得る。



3

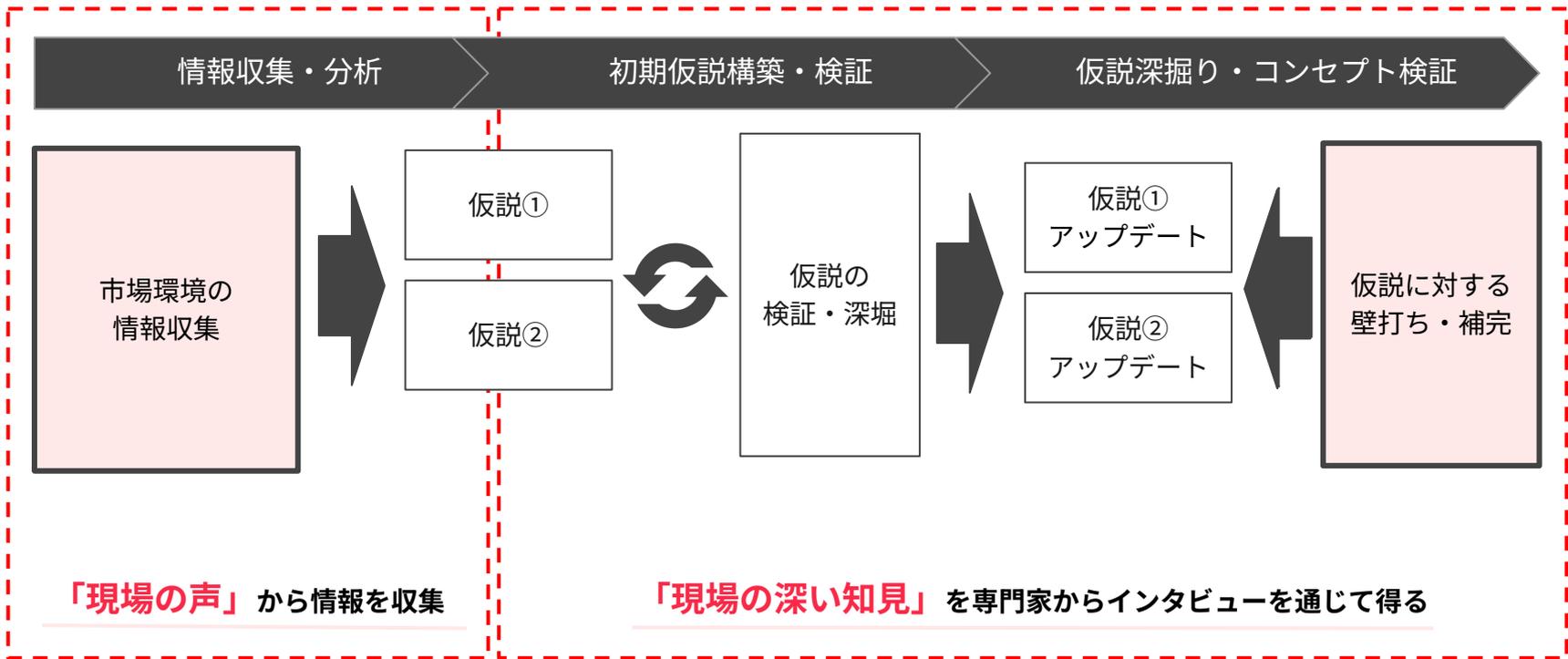
ロジックの補強

自社内の仮説に専門家の視点を加えることで、戦略の妥当性を客観的に立証。判断の根拠を盤石にし、意思決定の確信を醸成する。



「現場の声」を聞く | エキスパートサービスの本質

エキスパートサービスとは、特定の業界や領域に精通した専門家から直接知見を得る手法です。
各リサーチのフェーズのデスクリサーチに専門家の知見を加えることで、調査精度を高めることができます。



エキスパートサービスの活用場面 | 海外リサーチの代表的シナリオ

海外市場の開拓には、言語・時差・コストといった特有の障壁が伴います。エキスパートリサーチを活用することで、これらの障壁をショートカットし、リサーチの効率性を飛躍的に高めることが可能です。

利用場面

導入効果

新規海外市場の初期調査

費用対効果の低い多言語リサーチの膨大な工数削減に

通常以上に工数がかかる現地語でのデスクリサーチを、「エキスパートから得る一次情報」へとシフト。調査工数を劇的に削減し、最短ルートで市場の全体像を把握することで、検討フェーズの機動力を最大化します。

複数国・地域の事例収集

高い調整コストがかかる複数国をまたぐ調査に

国ごとに異なる地域の情報を網羅的に把握するには、膨大な調整コストが大きな障壁となります。ネットワークを通じて各国の事例を効率的に集約、各地域の視点に基づいた「深い洞察」の獲得を実現します。

現地知見の深掘り調査

現地エキスパートとのコミュニケーションを円滑に

物理的な距離・時差・言語の壁は、最適な専門家の特定から実査の調整に至るまで、多大なリソースを費やす要因に。プラットフォームを通じてニーズに合致した、深掘りしたい最適なエキスパートとのマッチングを可能にします。

その他の活用場面

- ・ 多角的な実例（N数）の裏付けによる、アウトプットの説得力強化に
- ・ 公開情報には現れない、市場の「生の実態」や一次情報の収集に
- ・ デスクリサーチに基づき構築した「仮説」の検証と、戦略の精緻化に

知見を組織の資産に変える | 理想的な「調査・活用」サイクル

現場の生きた知見を整理し、ナレッジ基盤として蓄積していく。

この循環が中長期的な投資対効果（ROI）を最大化し、持続的な競争力を生み出します。

リサーチの本質は、単なる「調査結果」ではなく
「組織の資産」へと変えるプロセスにあります。

調べる・分析する

企業情報・業界トレンド・ニュース・特許など
あらゆる公開情報を収集・分析。
市場の概観を捉え、初期仮説を作る。



質問する

エキスパートリサーチで初期仮説を検証。
さらにエキスパートへのインタビューを通じて
具体的な業界動向や顧客課題を深掘りする。

蓄積する・共有する

エキスパートからの知見は、組織内で共有できる
形として残し、蓄積していく。
リサーチを継続していくことで、知見が貯まり、
組織の共通資産に。

データ DATA

ナレッジ KNOWLEDGE

知見の質を最大化する | 質を決定づけるエキスパート選定

リサーチを真に価値あるものにするためには、適切な専門家の選定が不可欠です。
ビジネスニーズと合致したエキスパートは、有益なインサイトを最大限に引き出します。

選定の3つの基準

専門属性の合致

対象領域の構造
を深く理解している人か

国・地域
業界・分野
役職・経歴
年代・経験年数

現場への近さ（現地性）

市場の「生の実態」
を知る人か

現地事業の立ち上げ経験者
現地規制に精通した実務家
地元の有力実力者

検討フェーズへの適合

各検討段階に必要な視点
を持つ人か

市場環境を俯瞰的に把握したい
初期仮説を組み立てていきたい
仮説を検証・深掘りしたい

「最適な専門家にたどり着けるか」が、アウトプットの価値と精度を決定づける

アジア市場での事業拡大に、情報とスピードを

Speeda エキスパートリサーチサービスのご紹介

厳選された地域特化型の専門家ネットワークを提供

アジア市場に精通した多様な属性（業界・職種・役職）の専門家ネットワークを構築。専任チームが質問内容を精査し、ニーズに最適なエキスパートを的確にマッチングすることで、高品質かつ実践的な知見を提供します。

すばやく知見を取得し、意思決定を加速させる

クイックな一次情報の収集と深い洞察の獲得を両立。最短24時間以内の回答取得から、詳細なインタビュー調整まで一気通貫で支援し、リサーチから意思決定までのリードタイムを大幅に短縮します。

導入しやすいプランで、リサーチの幅を今すぐ広げられる

エキスパートプラン単体での導入可能。ニッチ市場の調査や仮説精度の向上を低コストで開始できます。経済情報プラットフォームSpeedaと併用することで、統計データと現場の「生の知見」を組み合わせた、精緻な意思決定プロセスを実現します。

サービス説明・トライアルをご希望の方はご連絡ください

- お問い合わせは[こちら](#)まで
- トライアルのお申込みは[こちら](#)

Speedaアジア ジャパンデスク
speeda.sea@uzabase.com